

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 7 月 26 日

評価対象事業		評価者	文化財課長	鈴木 庸一郎
教育-40	史跡環境整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	文化財課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針	文化財の保護

1 事業の目的

対象	国等指定史跡
意図	国等指定史跡の公有地化及び整備により、保護するため。
効果	国等指定史跡を保護する。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

- ・史跡永福寺跡、史跡法華堂跡(北条義時墓)等、指定史跡の公開及び維持管理を行った。
- ・史跡永福寺跡の買収を行った。
- ・大雨の被害を受けた史跡永福寺跡の危険木伐採、防災工事を行うなど、災害対応を着実に進めた。
- ・大町釈迦堂口遺跡の崩落対策工事に着手した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	史跡公開活用事業	史跡永福寺跡維持管理等業務(光熱水費・電信料・委託料)	一般公開されている史跡数(箇所)	32 / 42	42	42	76.2%
				16,064 / 12,806	13,349		
02	史跡維持管理事業	・史跡維持管理業務(消耗品費、草刈り等委託料、市民協働事業負担金)	委託や市民協働により維持管理を実施した延べ回数(回)	49 / 60	60	60	81.7%
				8,193 / 15,914	15,914		
03	史跡安全対策・災害復旧事業	・史跡大町釈迦堂口遺跡崩落対策工事請負費 ・史跡永福寺跡緊急伐	安全対策工事及び災害復旧業務の実施件数(件)	4 / 1	1	2	400.0%
				64,232 / 50,000	229,625		
04	史跡買収事業	史跡永福寺跡の買収	公有地化対象史跡の公有地の割合(%)	59.2 / 59.2	59.2	59.2	100.0%
				32,253 / 39,027	0		
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	26,224 / 56,636	77,642		
			地方債	27,738 / 28,800	77,600		
			その他特定財源	98 / 52	202		
			一般財源	66,682 / 32,259	103,444		
			事業費の合計(千円)	120,742 / 117,747	258,888		
		人件費(千円)		27,313	27,670		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	3.7	3.6	3.6			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	史跡公開活用事業	史跡の公開のために必要となる安全対策等が完了した史跡がなく、未達となったが、すでに公開している法華堂跡の整備等を進めた。	歴史的に重要な史跡の公開活用により、市民等が歴史・文化への理解を深めるための拠点となる。歴史遺産と共生するまちづくりに寄与しており、妥当である。	鎌倉市史跡整備等アドバイザー会議で有識者の意見を聞きながら公開活用を進めているが、史跡の新規公開には至っていないため、引き続き、防災、安全対策を進め、暫定的な公開手法を検討していく。 法華堂跡(北条義時墓)においては、湘南工科大学と協働し、法華堂を復元したARアプリを公開した。
02	史跡維持管理事業	目標より件数は少なかったが、史跡の草刈りや危険木の伐採など、必要な箇所については概ね計画通り実施し、適切な維持管理を行うことができた。	歴史的に重要な史跡の維持管理を行い、その価値を保存し、公開することで歴史遺産と共生するまちづくりに寄与しており、妥当である。	広範な史跡指定地の予防的な管理・整備を計画的に進めているが、豪雨などに伴う突発的な対応が必要な事案も発生しているため、計画を短縮する取組が必要である。
03	史跡安全対策・災害復旧事業	当該年度の実施予定件数を指標としているため、年度によって増減がある。令和3年度は大町釈迦堂口遺跡崩落対策工事に着手したことに加え、永福寺跡での災害復旧を実施した。	倒木や土砂崩落のあった史跡地内の斜面等について復旧作業を行うとともに、崩落防止対策を実施した。文化財を保護し、市民等の安全を確保するための事業であり、妥当である。	市で管理している史跡指定地が広範にあるため、防災対策を実施する箇所について、鎌倉市史跡整備等アドバイザー会議等の意見を聞きながら、緊急度、優先度を的確に把握し、事業を実施する必要がある。
04	史跡買収事業	重点事業計画で実施年次を設定している。令和3年度は、史跡永福寺跡の買収を行い、目標を達成した。	公有地化により、史跡が現状のまま保護され、後世にその価値を伝えることができる。歴史遺産と共生するまちづくりに寄与しており、妥当である。	買収は、土地所有者の所有権を尊重する観点から、所有者の要望に基づいて進めており、時間を要する。
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1 今後、負担の導入を検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー NPO法人鎌倉みどりのレンジャー

**(3) 総合評価** ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡指定地の安全対策、日常的な管理を継続しながら、暫定的な整備、公開手法を検討し、公開、活用を進めていく。</li> <li>・近年の大雨や台風被害の増加に対応するため、樹林地や斜面地の予防的な防災・管理業務を進めていく。</li> <li>・指定地の買収、公有地化は貴重な史跡を適切に保存していくために必要な事業であり、土地所有者からの要望に基づき、緊急性、優先性に応じた買収を進めていく。</li> </ul>					

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)	一般公開している史跡数						単位	箇所
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
史跡の公開活用を図るため	目標値	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	
	実績値	32.0	32.0					
	達成率	76.2%	76.2%					

指標(単位)	公有地化対象史跡の公有地の割合						単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
指定地の公有地化を進めることで史跡の着実な保護を図るため	目標値	59.1	59.2	59.2	59.2	59.3	59.3	
	実績値	59.1	59.2					
	達成率	100.0%	100.0%					

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項	国・県・市指定史跡名勝天然記念物の件数							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市
他市実績	76	18	14	1	41	28	12	9

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	文化財の整備や管理、調整等に必要業務量は文化財の数に比例するため、自治体の人口規模や財政規模ではなく、指定文化財の件数を指標として、必要な経費を確保し、事務体制を整備する必要がある。
----------------------	---